

## 「在宅医に老衰と死亡診断された患者の症例集積研究」についての

### お知らせ

#### 1. 実施目的について

老衰と死亡診断された患者にどのような症状や合併症が起こり、どのような治療が行われていたかを明らかにすることを目的としています。

#### 2. 実施内容について

当院で診療をしていた患者さんで、2022年1月1日～2022年12月31日に死亡診断した方のうち、死亡診断書の「死亡の原因」に老衰と記載した患者さんが対象になります。対象者の方のカルテ情報を過去にさかのぼり集計し、その情報を研究責任者に提供します。研究責任者はその情報をもとに解析を行います。

#### 3. 研究責任者

今永 光彦（埼玉県蓮田市 奏診療所）

#### 4. 研究期間

2023年2月1日～2023年12月31日が研究期間となります。（情報の集計や解析を行う期間を含みます）

#### 5. 個人情報及びプライバシーの保護について

この研究では、年齢、性別、診療期間、合併症の内容、亡くなる前の症状や医療行為、点滴をしている場合にはその情報を、当院のカルテ情報を過去にさかのぼり記録します。医療の発展・向上を目的として患者情報を個人が特定できない形で集計する調査です。したがって、この研究による個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究についてご質問があるときは、お問い合わせください。

また、この研究の対象から除外されることをご希望のご家族の方は、お申し出ください。